

平成 1 7 年度

社団法人 全国大学体育連合事業報告書

平成17年度総務部事業報告

本年度の基本方針は「新たな役員による本連合の円滑な運営と新規会員募集への取り組み」である。同時に長年の取り組みである定款改正への具体的な取り組みである。

会議関係等

総会、理事会、常務理事会、支部長会、部長会

平成17年 4月28日：第1回常務理事会・第1回部長会
5月26日：第2回常務理事会・第2回部長会
5月26日：第3回常務理事会
6月24日：第4回常務理事会・第3回部長会
7月22日：第5回常務理事会・第4回部長会
8月26日：支部長会
9月29日：第6回常務理事会・第5回部長会
10月27日：第7回常務理事会・第6回部長会
11月17日：第8回常務理事会・第7回部長会
12月17日：第9回常務理事会・第8回部長会
平成18年 1月28日：第10回常務理事会・第9回部長会
2月18日：第11回常務理事会・第10回部長会
3月10日：第12回常務理事会・第11回部長会
3月27日：通常総会・理事会

監査：平成17年 5月20日 平成16年度収支決算監査
平成18年 3月 7日 平成17年度収支精算監査

部会：平成17年5月13日
平成17年11月11日

事業関係等

事務の適正な運営 非常勤職員の雇用

会計処理（税務処理を含む）の適正な執行（公認会計士へ支援を委託）
昨年度から掛水 隆 理事が会計責任者として会計処理にあたった。

各支部との連携
支部長会議の開催 サンパレア瀬戸
会員データベースづくりの促進
会員の連絡先の確認
各大学の担当者・連絡先の確認作業を行った。

新規会員の勧誘

非会員校319校 非個人会員2044名に対して入会案内用の書類（パンフレット）を郵送し、積極的に勧誘を行った。

関連諸団体との連携の促進

日本養生学会、大学スケート研究会、個体差研究会の研修会を後援し、積極的に参

加した。

関連諸団体や社会への情報発信

運動の活動を理解していただくためにパンフレット作成し、小学校体育研究会、日本中学校体育連盟、全国高等学校体育連盟に送付した。

大学体育関連研修会開催支援補助事業（事務取り扱いを総務部が担当）

1. 大学スケート研究会研修会
2. 日本養生学会研修会
3. 個体差研究会研修会
4. 全国大学体育連合東海・近畿支部
5. 全国大学体育連合九州支部研究会

賛助会員及び協賛企業の掘り起こし

賛助会員募集を行い4企業が会員となる

機関誌・報告書バックナンバーの管理等

機関誌・報告書の製本を行った。

会員数（平成18年1月1日現在）

国公立総合大学	55	前年1月31日	56
国公立単科大学	23	同上	22
私立総合大学	96	同上	95
私立単科大学	139	同上	140
短期大学	87	同上	87
個人	51	同上	46
計	451	同上	446

賛助会員 4 0

事務所の業務曜日等

業務曜日：月～金曜日（午前10時～午後4時）の5日制。

職員：油木時子、下野朋子

構成員

部長：山田茂（東京大学）

副部長：掛水隆（東京電機大学）小嶋武次（東京大学）井上千枝子（実践女子短期大学）丸山剛生（東京工業大学）

委員：小幡勝彦（国土館大学）鈴木 明（聖学院大学）松垣紀子（東京大学）

以上

平成17年 研修部事業報告

・ 活動方針

- 「研修事業内容の検討とメディア教材の開発」
- 研修事業の支援
- メディア教材の開発

・ 事業関係

1. 17年度中央研修会

主管：東海支部

場所：サンパレア瀬戸、南山大学

期日：平成18年8月24日～1月26日

2. 中央研修会でポスター発表企画

- ・教材開発DVDのサンプル公開
- ・16年度冬期研修会のビデオデータ紹介
- ・新体力テストマニュアルのDVD化と配布

3. 新体力テスト複製DVDを日本体育学会会場で販売

4. 平成18年度中央研修会の決定事項

主管：東北支部

場所：蔵王スキー場

期日：平成19年1月23日～1月26日

募集人員：80名

内容：アルペンスキー、スノーボード

会議関係

第1回研修部会

期日：5月6日（金）

場所：早大競技スポーツセンター

- ・DVD教材作成の検討
- ・平成17年度中央研修会の内容検討

第2回研修部会

期日：6月30日（木）18:00～20:00

場所：早大競技スポーツセンター

- ・平成17年度中央研修会の内容と広報の検討
- ・中央研修会ポスターの作成
- ・ビデオのDVD作成手順の検討
- ・平成18年度中央研修会（東北支部）進捗状況と打ち合わせ。

第3回研修部会

期日：7月15日（金）18:00～20:00

場所：早大競技スポーツセンター

- ・平成17年度中央研修会打ち合わせ

- ・平成16年度冬期中央研修会アンケート調査結果の検討
- ・平成16年度冬期中央研修会ビデオ教材サンプル公開の検討
- ・ポスター発表演題の検討。
- ・平成18年度中央研修会（東北支部）の進捗状況報告と担当者の決定
- ・教材開発の検討
- ・新体力テスト VHS 教材の DVD 化を検討

第4回研修部会

期日：8月6日（土）12:00～18:00

場所；早大競技スポーツセンター

- ・平成18年度中央研修会での役割分掌
- ・教材開発の検討及び DVD 編集作業

第5回研修部会

期日：8月25日（木）20:00～22:00

場所：サンパレア瀬戸

- ・冬期中央研修会アンケート調査結果を中央研修会でポスター発表
- ・本研修会でのアンケート調査の実施
- ・教材作成に関する実施計画の検討

第6回研修部会

期日：10月14日（金）17:00～20:00

場所：早稲田大学競技スポーツセンター

- ・平成17年度中央研修会の総括
- ・アンケートの集計
- ・機関紙「大学体育」の資料作成
- ・教材開発ソフトウェアの評価
- ・スノーボード研究会後援依頼の検討
- ・平成17年度中央研修会文科省報告書作成

第7回研修部会

期日：12月12日（月）12:00～18:00

場所；早大競技スポーツセンター

- ・平成18年度予算及び事業計画案検討
- ・平成18年度教材開発案検討

第8回研修部会

期日：1月13日（金）18:00～20:00

場所；早大競技スポーツセンター

- ・平成18年度事業計画案作成
- ・平成18年度事業報告案作成
- ・支部研修会（東北、北海道）部員派遣を決定

・ 構成員

部長 関 一誠（早稲田大学）

副部長 宮崎正己（早稲田大学）

副部長 佐藤 健（日本体育大学）

委員 渡辺英次（八戸大学）
深澤浩洋（電気通信大学）
谷藤千香（千葉大学）

平成 17 年度 情報部事業報告

・基本方針

大学体育に関する調査研究の実施や内外の情報収集による成果を広く速やかに会員に提供する。

・会議関係

定例会 7 回開催、及び各プロジェクト研究の会合

・事業関係

1．プロジェクト研究の実施

(1) 体力評価プロジェクト研究(担当：太田、山本)

次号報告書に向けた資料収集を行うとともに、大体連ノルム作成のための調査を行った。

また、これまでの分析結果を大体連中央研修会(8月、東海支部)にて報告した。

(2) 教育情報プロジェクト研究(担当：師岡、山里、白土)

アンケート調査を実施し報告書を発行した。

(3) 教育評価プロジェクト研究(担当：工藤、飯野、松本)

先行文献のレビューと各大学での実施状況に関する資料を収集し、その分析結果を『大学体育学』に報告した。

2．大学体育研究助成

・H17 年度分のすべての研究成果報告書を受理し、『大学体育学』に掲載した。

・H18 年度分の募集と審査の事務を担当した。4 件の申請があり、選考委員会に諮った結果、以下の 3 件を候補として常務理事会に報告があり、常務理事会で交付することを決定した。

1 位 「女子大学生の身体不活動の規定する心理・行動科学的要因の縦断的検討」

松本裕史・坂井和明・野老稔(武庫川女子大学)

2 位 「障害・傷害学生に対する大学体育授業の実践とその評価」

荒井弘和(大阪工業大学)

3 位 「スポーツを教材とした体育授業を通しての心理社会的スキル向上の試み」

杉山佳生(九州大学)

次点 該当なし

3．大学体育教育賞・奨励賞

H17 年度分の推薦依頼と審査の事務を担当した。教育賞に 1 件、奨励賞に 0 件の推薦があり、審査資料を作成して選考委員会に諮った結果、以下を候補として常務理事会に報告があり、常務理事会で授賞することを決定した。

荒井弘和(大阪工業大学)

行動変容技法を取り入れた体育授業が男子大学生に身体活動量とセルフ・エフィカシーにもたらす効果

『体育学研究』第 50 巻第 4 号 pp.459-466 (2005 年 7 月)

障害のある学生または傷害を負っている学生に対する大学体育授業の効果

『体育学研究』第 50 巻第 4 号 pp.449-458 (2005 年 7 月)

4．日本体育学会時のシンポジウム

H17 年 11 月 25 日に、「大学体育における新たなる挑戦」というテーマで基調講演(小林寛道東京大学教授)とシンポジウムを開催し、160 人ほどの参加者があった。

5 . 大学体育教材推薦制度

推薦教材の選定作業を試み、その結果、以下の3冊を大体連推薦優良教材として広報した。

- ・ 北田和美編・著『WELLNESS LIFE からだの主人公になろう！』教師塾出版局、2005年、840円(税込)
- ・ 出村慎一監修『健康・スポーツ科学講義』杏林書店
2005年 2625円(税込)
- ・ 吉田和人著『書き込みながら自分で学ぶ生涯スポーツのための卓球テキスト』三省堂
2004年 600円(税込)

・ 構成員

部長 小林勝法(文教大学)
副部長 師岡文男(教育情報担当、上智大学)
太田あや子(体力評価担当、武蔵丘短期大学)
工藤和俊(教育評価担当、東京大学)
委員 飯野要一(東京大学)
山里哲史(東京女学館大学)
松本秀夫(東海大学)
白土男女幸(上智大学)
山本恵弥里(東海大学非常勤講師)

以上

平成17年度 編集部事業報告

・基本方針

機関誌『大学体育』が、会員への情報サービス及び情報交換の場としてさらに充実することを基本方針として、綿密な取材・編集活動を実施し掲載内容の工夫を図った。

・会議関係

1．定例部会開催（7回）

（1）機関誌第85号発行に関して

平成17年5月6日、平成17年5月17日、平成17年6月6日

（その他メール審議及び個別打合せを行った）

（2）機関誌第86号発行に関して

平成17年9月15日、平成17年10月24日、平成17年11月14日、平成17年12月2日

（なお、上記定例部会には校正作業部会も含まれる）

・事業関係

1．機関誌第31巻（85号、86号）の発行

85号 平成17年6月15日発行

86号 平成17年12月15日発行

2．機関誌『大学体育』の内容の充実

総会、中央研修会、大体連シンポジウム等において取材および原稿依頼を行った。

特に中央研修会においては、編集部独自の取材活動を実施した。また、コラム欄を設けたり、記事のレイアウトなどに新たな工夫を試みた。

・構成員

部長：荒井啓子（学習院女子大学）

副部長：鈴木淳平（駒澤大学）

委員：廣 紀江（学習院大学）・矢島ますみ（明海大学）・嵯峨 寿（筑波大学）

以上

平成17年度 ホームページ委員会事業報告

基本方針

1. ホームページの定期的な更新
2. ホームページの内容充実
3. DAITAIREN 情報でのメール情報の発信

会議関係

年度末に開催予定

事業関係

1. ホームページのリニューアル
2月に賛助会員のバナー広告を含めてトップページを一新した。現在の月間アクセス数は約5000件。
2. ホームページの定期的な更新
事務局またはHP委員長に寄せられた情報を大学体育連合HPに掲載した。古い情報を削除して見やすいように整理した。
3. DAITAIREN 情報サービスとHPの連携
メールで配信しているDAITAIREN情報からHPを見てもらえるようにアドレスを添付した。

・構成員

部長：沼澤秀雄（立教大学）

副部長：岡田英孝（電気通信大学）

平成 17 年度 教育研究論文誌編集委員会事業報告

基本方針

大学体育学第 3 号の発刊

会議関係（メール会議）

- 第 1 回（持ち回り） 09/05
- 第 2 回（持ち回り） 10/25
- 第 3 回（持ち回り） 10/31
- 第 4 回（持ち回り） 12/13
- 第 5 回（持ち回り） 1/23
- 第 6 回（持ち回り） 2/9

事業関係

1. 投稿の呼び掛け

夏期中央研修会でのポスター発表者に投稿呼び掛けを行なった。その結果 2 編の投稿があったが、締切りには間に合わず来年度第 4 号分とした。

2. 論文審査

審査の結果、今年度は 6 編と多くの論文を掲載することができた。

原著論文

- 1). 木内敦詞・荒井弘和・浦井良太郎・中村友浩：身体活動ピラミッドの概念と行動変容技法による大学生の身体活動増強
- 2). 笹原妃佐子・大岩雅子・河村誠・笹原英夫：大学における体育の意義について
- 3). 橋本公雄：運動行動の促進を意図した「健康・スポーツ科学講義」の効果 - 行動変容技法の導入 -
- 4). 工藤和俊・飯野要一・松本秀夫：大学教育における体育関連科目の授業評価 他の共通科目との比較から一

事例報告

- 5). 渡辺英次：インターネットを利用した大学体育実技の展開ならびに Web サイトの作成
研究資料

- 6). 徳永敏文：大学教養体育実技における学生の意識についてー必修・選択学生による相違についてー

3. 大学体育学投稿規定の改正

第 6 項に下線部分を追加して、ページ超過についてのルールを明確にした。

「総説」「原著論文」の原稿は、原則として 1 篇につき、図表を含めて刷り上がり 10 ページ以内（1 ページ約 1722 字）とし、それ以外の原稿は図表等を含めて刷り上がり 8 ページとする。
規定のページ数を超えた場合は、著者負担とする。

第 12 項のマールの宛先を次のように変更した。 MAIL: info@daitairen.or.jp

附則に 本規定は、2006 年 4 月 1 日より適用する。を追加した。

構成員

- 委員長 杉山進（お茶の水女子大学）
- 副委員長 荒井啓子（学習院女子大学）
- 委員 嵯峨寿（筑波大学）
- 委員 杉山千鶴（早稲田大学）

委員 友添秀則（早稲田大学）
委員 丸山剛生（東京工業大学）
委員 奈良雅之（目白大学）
支部推薦委員
委員 蓑内豊（北星学園大学）
委員 池上久子（南山大学）
委員 鈴木久雄（岡山大学）
委員 岡田修一（神戸大学）
委員 飯干明（鹿児島大学）

平成17年度 大学体育評価委員会事業報告

基本方針

「大学体育 FD 推進校表彰制度」の募集を行ない、加盟大学の FD 推進を促進すること。

会議関係

平成17年5月3日の大学体育評価委員会で平成17年度の募集要綱の検討。

平成17年8月26日の支部長会で経過報告

平成17年12月17日の審査会議。

平成18年1月28日の常務理事会で「FD 推進校」の決定

事業関係

平成17年度「大学体育 FD 推進校」の募集 7月15日～9月20日

審査期間 9月30日～11月30日

審査会議 12月17日

大学体育 FD 推進校の決定 常務理事会 平成18年1月28日

表彰 総会 平成18年3月27日

・構成員

委員長：森 正明（中央大学）

委員：田中 博（大東文化大学）

平成 17 年度 将来検討特別委員会事業報告

．基本方針

組織検討特別委員会のまとめに沿って、組織的改革を促進するとともに、今後の大学体育の将来構想を検討する。

- 1．研修会の検討・充実
- 2．評価事業の推進
- 3．大学体育綱領の作成
- 4．課外活動問題の検討

．会議関係

第 1 回委員会	平成 17 年 5 月 12 日（木）	日本大学文理学部
第 2 回委員会	平成 17 年 6 月 30 日（木）	日本大学文理学部
第 3 回委員会	平成 17 年 9 月 22 日（木）	日本大学文理学部
第 4 回委員会	平成 17 年 11 月 2 日（木）	日本大学文理学部
第 5 回委員会	平成 18 年 2 月 16 日（木）	日本大学文理学部

．事業関係

「大学教育における課外スポーツ活動の検討 - 教育的サポート体制の構築 - 」

上記タイトルのテーマで、大学体育連合の会員校に質問紙を郵送し、調査を行った。現在、集計中である。

．構成員

委員長：	川井 昂（日本大学）
委員：	杉山 進（お茶の水女子大学）
	沼澤 秀雄（立教大学）
	嵯峨 寿（筑波大学）
	佐々木 玲子（慶應義塾大学）
	高橋 正則（日本大学）

以上

平成 17 年度 定款改正準備委員会事業報告

・ 基本方針

現行定款の改正案の作成

会議関係（メール会議）

第 1 回（ 7/8 ）

第 2 回（メール 9/20）

第 3 回（メール 2/4）

事業関係

1. 定款改正案 第 2 案の作成 8/17

2. 定款改正案 第 3 案の作成 1/25

3. 定款改正案 第 4 案の作成 2/8

構成員

委員長 杉山進（お茶の水女子大学）

委員 山田茂（東京大学）

委員 枝村亮一（国土館大学）

委員 小嶋武次（東京大学）